施　設　紹　介

広島県立技術短期大学校
（テクノカレッジ広島）

広島県立技術短期大学校　教務課長　**梅西　浩二**

1. はじめに

広島県は，南は風光明媚な瀬戸内海に面し，北にはなだらかな中国山地を抱いており，豊かな自然と四季の変化に富んだ気候に恵まれています。この豊かな自然の中では，夏の海水浴から冬のスキーまで四季折々にさまざまなレジャーが楽しめ，さらに海の幸カキをはじめ，山の幸マツタケやミカン，リンゴとバラエティーに富んだ産物が味わえる味覚の宝庫でもあります。

一方，産業面では平成19年の製造品出荷額は10兆1,586億円で全国順位11位，特色としては，筆，針，など現在でも全国的にトップシェアを誇る伝統的製造業から自動車や船舶等の輸送用機械，鉄鋼，一般機械，電気機械，食料品などの製造業がバランスよく集積しています。

本館棟（生産技術科）

このような状況のなか，本県の基幹産業である「ものづくり」分野においては，専門的な知識・技術・技能を持った若い人材が恒常的に不足しており，その人材育成のために全国で10番目の県立職業能力開発短期大学校として平成21年４月に開校したところです。

本県には，高等技術専門校（職業能力開発校）が４校，障害者職業能力開発校（国立県営）が１校ありますが，本校は広島高等技術専門校の訓練科目を縮小し，空いたスペースを改修してその敷地内に併設の形で設立されました。

別館棟（制御技術科）

2. 広島県立技術短期大学校の業務内容

本県の主要産業である製造業や鉄鋼業などでは，高度な技術を有し企業の中核を担う人材育成のニーズが高いため，将来，企業のマネジメントにも携われるようなエンジニアを育成，輩出し，活気ある地

域社会の構築に貢献することを目的としています。

そのため，本校では「ものづくりができる人になろう」「自ら問題意識を持ち，問題を解決できる人になろう」をスローガンに，次のように教育を行っています。

・実際の製造現場で使用している機器を用い，現場さながらの授業を展開する。
・豊富なネットワークを生かし，地元企業と連携を図る。
・少人数制により基礎から応用まで，１人ひとりに行き届いた丁寧な指導を行う。

本校には次のとおり２つの科があります。
・生産技術科　（定員20人）
・制御技術科　（定員20人）

１期生は知名度がすぐには高まらなかったこともあり，２科定員40名のところ，29名の入学にとどまりましたが，２期生では２科とも定員を充足しました。

また，本校には事業主推薦制度があり，在職のまま会社から派遣され一般の学生と机を並べて学習している者がいます。１期生は３名，２期生では２名の学生が事業主推薦で入学しています。

世界遺産の宮島（弥山）登山が恒例です
（写真は制御技術科）

3. 各科の内容

3.1　生産技術科

生産技術科では，生産現場のリーダーになれる人材を育成します。特に，機械加工分野において，ものづくりに関連する幅広い知識を有し，次のような人材を目指します。
・簡単な治具や装置を考案し，機械加工や溶接により製作ができる。
・生産現場の機械の構造を知っており，工具を正しく使って分解・組立ができる。また，精密に測定ができる。
・CAD/CAM/CAEなど新しい技術にも対応ができる。

生産技術科実習場
（手前右は５軸MC，左はNC旋盤，奥はフライス盤）

汎用旋盤実習
（２年次に３級技能検定を受検）

NCプログラミング実習

・NC工作機械を用いてマニュアルでのプログラミング・加工ができる。
・機械部品等の図面を見て，最適な加工工程・加工条件を設定し，汎用工作機械で加工ができる。

２年次の前半までで基礎を学び，後半では卒業製作としてのスターリングエンジンや金型の製作を通して応用力を身につけます。

3.2　制御技術科

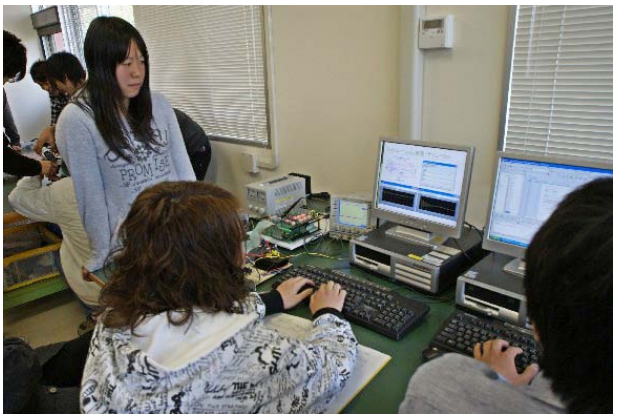
制御技術科は，生産ラインのシステム全般を理解できる人材を育成します。特に，電気制御・コンピュータ制御分野について豊富な知識を有し，次のような人材を目指します。

・生産ラインの改善やトラブルシューティング，保守・管理について作業指示や技術指導が行える。
・新しい制御技術にも対応ができる。
・生産管理システムの基本技術を理解し，システムの立案･仕様書作成やシステム設計ができる。
・機械およびマイコンによるロボットの設計･製作ができる。
・自動化システムの設備機器の設計･保守ができる。

生産技術科と同じく，２年次の前半までで基礎を学び，後半では卒業製作としての多関節ロボットを用いた組立ラインの設計･製作等を通して応用力を身につけます。

シーケンス制御実習

FA制御実習



マイコン制御実習

4. その他

4.1　賛助会

本校が開校するに当たり，その設置目的に賛同しインターンシップの受入や学生の就職先として協力いただける企業により賛助会が設立されました。開

校時は会員企業数40社でしたが，１年を経て現在は50社に加入していただきました。今後，更に会員企業数を増やしていきたいと考えています。

4.2　インターンシップ

本校では，１年次の２月に１週間のインターンシップを実施しています。昨年度は，すべて賛助会企業に受け入れていただきました。社会経験のない学生にとっては仕事のイメージを明確にするとともに，就職活動に向けて貴重な体験ができました。

インターンシップ報告会の模様

また，インターンシップでの経験をまとめて発表することにより，プレゼンテーションの練習にもなりました。

5. おわりに

知名度が十分に浸透していない等の理由から，本校は定員を大幅に割り込んで開校を迎えました。２期生については，職員一丸となってのPR活動と経済危機が応募者増につながり，定員を充足したところです。

今後の課題としては，賛助会を中心とした地元の企業に学生を就職させ，企業・学生双方の満足度を高めていくことがあります。そのためには，在学中にしっかりと技術･技能を修得させるよう常にカリキュラムの充実を図っていくことや，意欲のある学生を確保するために継続してPR活動を実施していきたいと考えています。